

Session 3

喜びの声続々！ アニマルコミュニケーションで こんなこともできる

岡安 こんにちはアニマルコミュニケーションプログラム hug★のナビゲーターの岡安です。

岩本 同じくナビゲーターの岩本です。

りこ 大河内りこです。よろしくお願いいたします。

一同 よろしくお祈りします。

岡安 よろしくお祈りいたします。ついにセッション3ということで、今回喜びの声続々、アニマルコミュニケーションってこんなことができるっていう事例をお伝えしていくことになるんですけども。

りこさん、前回仕組みを教えてください、誰にでもできるんだなっていうところはわかったんですけど、実際やってみたら、どんなふうになるのかってすごく興味がありますよね。

りこ そうですよね。実際自分ちのコがどうなるの？っていうの、皆さん、頭の中でわくわく、いろんな映像が思い出されると思うんですけども、例えば生後4ヶ月のネコの赤ちゃん、イメージできますよね、ネコ飼いさんだから。

岩本 すごいかわい状態ですよね。

りこ ですよね。そんなネコちゃんが3カ月間もシャーシャー言ってるって何かあるんだろうって思いませんか。

岩本 はい。

岡安 なついてくれないんですか。

りこ そうです。

岩本 こっちは愛を、愛情をぶつけてるのに、全然なついてくれないんですよ。

りこ それがアニマルコミュニケーションをその方がされたら、もう終わったその場で、さわれるようになって、ゴロゴロ言ってるっていう。

岩本 そんなに変わるんですか。

りこ はい、そんなうちの受講生さんの報告がありました。

岩本 うれしいですね。

りこ うれしいですよ。

岡安 アニマルコミュニケーションをただで、

りこ そうです。

岡安 ペットちゃんが、シャーって言ってたところから、ゴロゴロに変わっちゃうんですか？

りこ はい。私も動画を見せていただいたので、びっくりしました。

岡安 びっくりしますね。

りこ はい。そのコの気持ちをくみ取ってあげるだけなんですよね。

岡安 つながって、わかり合えたら、本当に家族のようになれるってということですね。

りこ そうですよ。私たち人だって、理解されるってことってうれしいじゃないですか。逆に理解をされないって、誤解をされているってすごく悲しいことですよ。

岡安 そうですね。やっぱりペットちゃんも人間と一緒に、自分のことをわかってくれるってわかった途端にその人のことが大好きになるってということですね。

りこ そうです。私もたくさんのコとお話ししてますけれども、「やっとわかる人が来た」って、言われたこともあります。

岡安 そんなこと言うんですか？

りこ はい。

岩本 動物たちが待ってるってことなんですね、理解されるのを。

りこ 待っててくれたんですよ、はい。

岩本 その気持ちに気づいてあげることができたら、そのときにちゃんとした関係が築けるってということですよ。

りこ そんなこと言われたら、何でも話してって。

岩本 うれしい。

りこ りこちゃん、何でも聞くよって言っちゃいます。

岩本 (笑)

岡安 それが自分も、***できるようになるってすごいですよね。

りこ そうですよ。

岡安 それができちゃったら、本当に無敵の関係。これ以上はない。

岩本 無敵の関係いいですね。

岡安 人間以上のつながりができるような。

りこ はい、そうです。

岡安 こんなことができるようになってしまうアニマルコミュニケーションなんですけれども、このアニマルコミュニケーションプログラム hug★では、体験プレセミナーを開催しております。今、続々お申し込みいただいて、大人気となっております。ぜひあなたもちょっと興味あるなと思ったら、ご参加いただけたらと思います。

岩本 お待ちしております。

岡安 そして、今日はアニマルコミュニケーションってどんなことができるの?と、今、少しりこさんにお話しいただきましたけれども、感動の事例を紹介ということで、アニマルコミュニケーションをちょっとやっただけでも、シャーつて言ったネコちゃんが、ゴロゴロになるってということなんですけれども、もっとすごい事例があるんですよ。

りこ もうたくさんあります。

岩本 気になります。

りこ 気になりますよね。

岡安 ぜひ体験した方の声を動画でお撮りしてありますので、ご覧いただけたらと思います。

◆体験者の上田さん

私、動物看護師なので、動物病院でも勤務してたんですけど、うちの2匹のネコたちが問題行動を抱えてたんですよ。1匹は布をかんで、食べて、飲み込んでしまう。もう一匹のコが、自分で毛をむしって、ひどいときには流血までするぐらいって問題行動を持ってたんですね。

考えられる原因を先生と相談して、取り除いたりとか、治療したりとか検査もしたんですけど、何もわからず、何も変わらずということで、本当に困ってた。

アニマルコミュニケーションっていうものは何となくあるなとは思ってたんですけど、あと残すはアニマルコミュニケーションしかないという感じで、セッションをしていただいて、私は自分ではできなくていいと思っていたんですね。「いつか自分にもできる時がきたらすごいな」って思いますみたいなことを言ったら、りこさんが、これからも今までと同じような生き方でいいの？と声をかけてくださって、その言葉がすごく自分の中に、引っかかって一歩踏み出したっていうのが始めたきっかけになります。

どこかできっと自分を変えたいっていう思いがあったんでしょうね。

こういった分野に取り組むのは全くの初めてだったので、本当にできるかどうか、何をやるのかもわからなかったんですけど、りこさんが常に肯定をしてくださったから、アニマルコミュニケーションを習得できたなっていう印象がありました。最初って、自信がない人が多いと思うし、私自身が本当

にできないだろうとか、自信のないタイプだったんですけど、そういう私でも肯定し続けてくださるので、これでいいんだっていうふうに思えるところでしたね。だから、安心の中でできるというか、安心と愛があるところかなというふうに思います。

一番大きかったなって思うのはりこさんが教えてくださるアニマルコミュニケーションを学んでいく過程で飼い主である私の考え方とか在り方っていうのが変化していったっていうのが一番大きいんだろうなっていうふうに思っていて、ペットたちも必然的に変わっていったんですよ。

実際に自傷行為というのも減っていったし、布を食べる行為っていうのも、今は食べちゃうことはないですね。プラスのスパイラルが起こっていて、どんどんいい方向に変化していったんじゃないかなっていうふうに思っています。

一番印象に残っているのは4年前にお空に還ったネコちゃんなんですけども、私の相棒だったんですね。そのコがお空に還る日っていうのが、ちょうどイベントの日で、もう予約もいっぱい入っている日に彼女は旅立っていったんですよ、その日の朝に。

あと少しでこのコ、お空に還るなっていう、そのコを置いて、イベントに出展するのか。それとも予約して下さってる方すべてに断って、このコといえるのかっていうのを、ものすごい短い時間で考えてたんですけど、彼女とはずっとアニマルコミュニケーションをしていたし、何でこのコは、この日を選んで旅立とうとしているんだろう？っていうことを考えたときに、きっとこのコはやってこいっていうことだなって。アニマルコミュニケーターとしてやっていきたいって、これからも思っている私に「やるんだぞ」って言ってくれているんだなって感じて、そういうのがきたんですね。

「今日これを超えられたら、ずっとやってけるよ」って言ってるなって。それを受け取ったら、行くしかないなと思って、その日は予定どおりイベント出展をしてきたんですね。

そういう彼女の姿を見て、何て大きい愛を持ってるんだらうって。飼い主の

ためなら本当に命をもって、身をもって、本当に大切なことってこれだよっていうことを、このコたちは、けなげに、純粹に伝えてくれてるんだなっていうのを自分のコが見せてくれたときに、ものすごい感動しました。

そのときのことを思い出すと、へこたれそうなときも、やっていけますね。

ペットさんと暮らしてる方には皆さんに知ってもらえたらいいなと思うんですけど、もしかして何を言われるかわかんないし、怖いからとか思ってる方もいるかもしれないんですけど、本当にペットたちって大好きな飼い主さんのことを真剣に大きな愛で思っていてくれて、それを伝えてるんですね。

例えば本当に問題行動とか体調不良とか。

なので、それを困ったものとして思わないで、その裏には、どんな大きな愛を伝えようとしているのかっていうことを、ぜひ知ってもらいたいなっていうふうに思います。

そこから飼い主自身も、私がそうだったように、人生の変わることって本当にあるし、あとはペットさんってかたちは違えども、誰しものが必ずお別れですと思うんですけど、そのお別れをするときに、アニマルコミュニケーションを知っているか知らないかで、飼い主さんのその後の心の状態って変わってくると思うんですよね。

例えばお別れする前に、ペットさんと心を通わせたりしておくことで、少しでもお互いの悔いが減るかもしれないし、たとえそれがペットさんとのお別れのあとにアニマルコミュニケーションを知ることになったとしても、その飼い主さんとペットさんにとっては、それがベストタイミングで、そのときだからこそ受け取れるメッセージがあるから、本当にいつ知っても遅くないし、たくさんの方がアニマルコミュニケーションを知ったらいいなというふうに思います。

安心して一歩を踏み出して大丈夫ですよっていうふうに伝えたいなと思います。

やっぱり自信がなかったり、本当にできるの？っていうような疑う心があるかもしれないんですけど、そこに一歩踏み出す勇気を持って進めると、本当

にそのあとの人生が楽になるというか、楽しくなるというか、そういう世界が待っていると思うので、ぜひ勇気をここで絞り出してもらえるといいんじゃないかなと思います。

特にりこさんの作り出す空間は安心と愛しかないので（笑）、大丈夫だよというふうに思います。

◆体験者 富田恭子さん

近況報告をしていたときに、1人の友達が最近動物としゃべってるって言うんですよ。

何？それとか思って、よくよく聞いてみたら、アニマルコミュニケーターやってるってということで、ちょうどそのときに11年半一緒に過ごしていた愛猫とのお別れがあってちょっと気持ちが沈んでいるときだったので、そのコof 気持ちが聞けるってということが私にとってはすごくいいことで、誰でもできるよって言うから、速攻申し込みました（笑）。

これも、でも、そのコof 采配なのかなって今は感じてます。

もうりこさんは、本当に愛の固まりの人で、優しくも厳しくも、本当に丸ごとその人のことを包んでくれて、いろんな方面からアニマルコミュニケーションを教えてくださいるので、スピリチュアルな面もあれば、心理的なものとか、天と地と両方から教えてもらえるってというような、とてもバランスよく教えてくださいなっていうのを感じました。

ほかのところで学んだ方の話とかを聞いていると、当たった、当たらないっていうところで結構くられるんですよね。

でも、その飼い主さんが知らないこのコof 姿っていう、思いとかっていうものの絶対あるので、そこを拾ってフィードバックしてても、「え？うちのコ、そんなことありません」とかって言われちゃうと、本当になかったことになっちゃうんですけど、りこさんの教え方っていうのは、本当に受け取ったものに対して否定をしない。

飼い主さんがたとえ否定をしたとしても、「だって、このコ、こう言ったもん」

っていうその揺るぎない自信というか、このペットちゃんを信じるっていうところの思いがとても詰まっているので、そこはとても大きいと思います。

まず私の気持ちが本当にごめんねっていう言葉をたくさん伝えたかった。

あれも謝りたい、これも謝りたいっていうのがあったんですけど、それが感謝に変わりました。

お空に還したあとは、皆さん、罪悪感を抱えてる方って多いと思うんです。

あれもできたんじゃないか、これもできたんじゃないかなとか、あれをやっ
てあげたかったとか、いろいろ後悔っていうのは出てくると思うんですけど、
その思いももちろん大事にしつつ、ごめんねが本当に感謝に変わる。

これを体験したときに、これはみんなにも知ってもらいたいっていうふうに
感じました。

一番最初に自分のコとつながったとき、これが一番感動だったんですけど、
うちのコ、ちょっと厳しめなんですよ、うちのにゃんこちゃんが、今いるコ
なんですけど。

順番に練習でペットちゃんと（練習を）やるんですけど、何々が好きとか、
こう言ってるよっていうのがわかったんで、受け取れたので、自分のコの番
ってなったときに、もうどんな感謝の言葉を伝えてくれるんだろう？ってい
うので、すごくワクワクしてつながったんですね。

そしたら、何も言わないんですよ、うちのコ。

「何で何も言ってくれないの？」って聞いたら、「だって自分だって自分の本
音言っていないじゃん。だから、私も言わない」って言われたんです。

その言葉を聞いたときに号泣してしまっ

でも、そのときは本当にその意味っていうのが私には理解ができなかったん
ですけど、今、こうして学んできて、言えることは、私が本当にどれだけ人
に合わせて生きてきたか。

自分の本音を自分自身にも言わせてあげてなかった。そこが言いたかったん
だろうなっていうのが今はわかるようになりました。

まず自分に丸をつけるっていうことは本当にできなかったですし、自己肯定感も低くて、自分自身に割と厳しめだったんですけど、よかったねって自分に言ってあげられるようになりました。

うちのコは、すごく厳しいことを言いましたけど、その裏にはとてつもない愛情、私を少しでもよくしよう、生きやすく変えてあげようっていう、その愛がいっぱい詰まっっていて、その言葉を聞いたこと、それから、その言葉のおかげで今の自分がある。これは本当に揺るぎない事実なので、本当にアニマルコミュニケーションを学んでよかったなって思います。

ペットちゃんも飼い主さんもどちらも幸せになります。

これは本当にどなたにも言えることです。とにかくこのコが望んでいることが何なのか。

そこを知りたかったのと、あとはお空に還ったコの気持ちを、自分の耳で、体で受け止めたっていうのがあったので、そこを目的に習い始めたんですけど、実際に受け取ったときの感動っていうのは、やっぱり人からセッションをやっていただいて、そこをフィードバックしてもらおうというのも、もちろんいいんですけども、自分のペットちゃんのことでは自分で聞きたい、知りたいっていうのが。そうすると、より距離感が縮まりますし、より愛おしくなりますし、感謝も本当にわいてくるんですよ。なので、まだ知らない方いらっしゃったら、ぜひ自分のペットちゃんの声をご自身で聞いてみてもらって、この感動を味わってほしいです。

本当にペットちゃんは愛の固まりなので、飼い主さんにとってつらいことを言うことはないです。

一瞬つらい言葉に聞こえるかもしれないんですけど、その深さ、その裏には必ずとてつもない愛が詰まっているので、ぜひその声をためらわずに聞いてあげてください。

◆体験者 寺内さところさん

ただ、イヌが大好きすぎて。ネコも大好きすぎて。

ただただ、本当の気持ちを知れたらいいなと思った。そこが強かったです。

私、実はりこさんの前に1人、ほかの先生に習ったんですけど、「潜在意識に意識を下ろしましょう」って言われても、「何？それ？」って人だったんですね。

そこでワークをやってみるんですけど、やり方、全然ぴんとなくて、とりあえず見よう見まねでやって、自分なりにやってたんですけど、できてるのかできてないのか、わかんないなと思って、1年ぐらいたったときに、りこさんを何かで拝見して、それで受講してみたところ、私の感覚を聞いてくださって、すごく具体的な提案をしてくださって、そのまま練習を続けてみたら、自分なりのアニマルコミュニケーションというところをたどり着けたので、そこがすごくりこさんに習ってよかったなと思った点です。

りこさんに出会ったときは、うちのコのちょっと問題行動があったのをどうにかしたいなと思って、床をペロペロなめて歩くとか、ソファをずっとなめているとか、その常同行動といわれるものがずっと収まらなくて。最初アニマルコミュニケーションを申し込ませていただいたんですね。それは何でかという、ブログを拝見して、そのブログの題名のところに、ペットの問題行動がぴたっと止まるか収まるか書いてらっしゃったんです。ぴたっと収まるということは、多分お話をして気持ちを聞くだけじゃなくて、その改善方法まできつとご存じなんだろうなと思って、その点がほかの先生方とは違うのかなと思ったんです。

講座もやっているよとお聞きしたので、すぐに参加しました。アニマルコミュニケーションしながらいつの間にか、ペロペロの常同行動がなくなっていたという感じです。

まずは私の言うこと、何を言っているのかを探るように聞くような目で見てくるようになりましてし、何か言いたいことがあったときに、これまでは態度で示したりとか、問題行動でしたりとかしてたんですけど、じっと語りかけてくるように、「何かこの人、言えばわかるようになったな」みたいな顔を

して、目で訴えてくるというんですかね。そういう感じになってきました。
意志の疎通が割とクリアにはっきりできるようになりましたし、ふとわかり合えるようになった気がします。

私の人生が変わりました。

家にずっといたただの主婦だったんですけど、ペットの声を聞くようになると、本当は何をなに生まれてきたんだろう？とか、本当は私は何をしたいんだろう？とか、そこを見ざるを得なくなってきました、うちのコを鏡として見せていただいて、自分をそこから見つけていくということをやっているうちに、今、ペットに関するお仕事などをさせていただくようになったので、本当に180度人生が変わってしまいました。

やっぱり私もイヌとして接していたんですけども、気持ちがリアルに通じるようになると、ペットも人間っぽくなってきちゃったというか、「中に人間入ってるんじゃないの？」ぐらいの、顔つきも変わってくるし、どんどん深いことを伝えて、表面上であれ食べたい、散歩行きたいだけじゃない生活になっていきました。

私が一番アニマルコミュニケーションをやり始めて感動したこと、一番伝えたいなと思うんですけど、ペットたちってよく見てますし、飼い主が何やっているか、何をしゃべっているか、全部聞いて、全部理解してるんですよ。

それがわかったときにすごくびっくりしたんですけど。

なので、本当に1人の人がいるような、もっと繊細にずっと自分たちのことを見てくれて、考えてくれる存在であるんだよっていうのをすごく伝えたい。

このコたちが私たちのもとに来てくれる意味ってすごく大きな意味があるので、私が「人生変わりました」と言ったように、何かそういうお役目を持ってきてくれているのは間違いないと思っているので、その辺を本当に強くお伝えしたいなと思います。

とにかく私の人生が変わっちゃったスキルの一つですし、アニマルコミュニケ

ーション自体が自分の潜在意識に入っていてから始まる場所なので、まず自分が整う。生活が整う。そしてペットが整っていくというそのメリットもあると思います。

やっぱり何よりうちのかわいいコとのきずながすごく深くなると思っているのと、あと、お空へ還したときに、それでもやっぱりずっとつながってられる、この感動といううれしさは、ほかの何にも代えがたいものだと思っています。

◆体験者 山本淳世さん

ただただ自分ちのコが、何が言いたかったんだろう？何を話しているんだろう？っていうのがきっかけですね。

りこさんに教えていただいて、自分とペットは鏡っていうところに気づかせていただくんですけど、うちのわんこ、食糞してたんですよ。

食糞って、何で食糞するんだろう？と思ってて、最初は自分のうんちを、しちゃったから隠すためにとかかなとか思ってたけど、でも、ずっと食べるよなとか思って、これ、あんまり人にも言いたくないじゃないですか？食べるなんて。

どうしたもんかなと思ってたけど、でも、りこさんに言ってみようということで話したら、「食べるって愛情だよな」って言われたとき、え？愛情？食べることと愛情って私は結びつかなくて、私の愛情のことで、何かメル（愛犬）が気づかせてくれてるんだなっていうのを気づいたときに、食糞がなくなりましたよ。

それで、これが鏡ってことなんだねっていうのをわかったっていう瞬間でしたね。

うちのコ（愛猫）が1月に亡くなったときに、何かそのときは、今日、亡くなるなってわかつちゃったんですよ。

家族にはそれは言えないので、「ちょっとみんな、早く帰ってきて」って言って、家族全員で見取れたんですよ。

だから、何かそれがよかったかなって思いますね。

ご飯ずっと食べなかったんですよ。

「何か食べたいものある？」みたいな感じで言ってて、そう言えば唐揚げがあるわと思って、唐揚げ食べる？って言ったら、「うん」とかって言ったから、それであげたら、全然食べなかったのに、ぱくぱくと食べちゃって、よかった、話せて、そのときと思って。

アニマルコミュニケーションができたからこそ聞けたっていう、そういう感じのはそこと、あと、りこさんのところでヒーリングとかも習って、やっぱり何をしてても最後って後悔が残ると思うんですよ。ああすればよかった、ああしなければよかったとか、いろいろ残ると思うんですけど、でも、今でも、ああすればよかったってあるんですけど、その中でも、これだけやったんだっていう、最後もお話もできたし、そこは習ってよかったなっていうところで

アニマルコミュニケーションをしないとわからないものってあるんですよ。なので、ぜひやっていただきたいなと思います。

岡安 ということで、皆さん、すごい変化されてますよね。

りこ うれしいです。

岡安 ペットちゃんがお空に還る日に、ネコちゃんに「唐揚げ食べる？」って聞いたら、いつも手作り食しかあげてないのに、唐揚げをぱくぱくぱくって食べる食べるって言って、食べたっていうあのエピソード、私、大好きなんですけれども、最後にネコちゃんがおいしいものを食べてお空に還れたって、すごくうれしいことですよ。

りこ うれしいですね。お空にお土産を持たせてあげたような、そんな感覚になりますよね。

岡安 そうですね。きっとネコちゃんも家族で唐揚げ食べてる、そういうお話で、「この唐揚げおいしいね」とかいうのをいつも聞いていて、「いつか食べたいなあ」と思ってたのかなという。その願いをかなえてあげられたって、それだけでもアニマルコミュニケーションってすばらしいなって思いますね。

りこ そうですね。やっぱり飼い主としては、うちのコの思いをかなえてあげたいって、要望をかなえてあげたい、聞いてあげたいっていう方が多いので、最後の最後に欲しかった空揚げ食べられたっていうのは、そのコももちろんうれしいですし、それをかなえてあげられた飼い主さんもすごいうれしい。

岡安 そうですね。哀しみは確かにあるとは思いますが、やれる限りのことをやってあげられたっていうのって、飼い主さんとしても、本当にこのコのためっていうのがやり遂げられたっていうのって、心に刺さってるものっていうのか、残って引っかかってしまってるようなものとか、そういうものっていうのが少しでも減ってくれたっていうのは、かけがえのないことですよね。

りこ そうですね。そのコと気持ちを通わせながら、最後の時を迎えるっていうのが、それはアニマルコミュニケーション以外にできないことだと思うので、それは、ただお別れが寂しいだけではなく、本当に愛と感謝、ありがとうね。うちに来てくれて本当にありがとうっていう、そういう愛の涙、感謝の涙だと思います。

岡安 そうですね。そこまで深くつながれるっていうのが、りこさんのアニマルコミュニケーションの特徴かなと思うんですけど。

りこ そうですね。ただ、そのコが表面的に言っていることだけではなくて、もっともっと深いところに詰まっている愛のメッセージ、魂からのメッセージって

いうところをくみ取っていくっていうところがいいところかなと思います。

岡安 そうですね。りこさんのアニマルコミュニケーションってつながっていくところが深いなっていうのがあるんですよね。ただ、このご飯が好きとか、お散歩大好き、楽しいみたいなそういうところではなくて、もっともっと本当にペットちゃんが伝えたい部分、中心の部分というか、芯の部分、そこまでつながることができるっていうのが大きな特徴じゃないかなって感じてます。

りこ そうですね。最近もお空に還られたコとのコミュニケーションの事例で、すごく私自身がハートフルになる事例があるんですけど、聞いてもらっていいですか。

岩本 ぜひ、お聞かせいただきたいです。

りこ お空のわんちゃんなんですけど、「私はたくさんのお弁当を持たせてもらったよ」って言われたんです。

岩本 お弁当ですか？

岡安 わんちゃんがお弁当を持っていったんですか？

りこ はい。お弁当をママが持たせてくれたよって。

ここにお弁当箱を結んでるようなイメージが私にはきたんですけど、「へえ、そうなんだ、よかったね」って私が言ったら、「そのお弁当箱の中身は、白い白米がいっぱい詰まってるんです、きれいにきれいに。そのご飯っていうのは、私がお空に行くときに詰めたわけではなくて、長くいたときに、一日一粒、優しさのご飯をママが毎日詰めてくれてたんだよって。それをお空に還るときに持たせてもらったのって。だから、私は今、お空でもみんなに親切にしてもらってるよって。ありがとうね、ママ」って言ってました。

岡安 そんな毎日の優しさがお米の粒になって、詰まって、それを持って天国に行けたんですね。

りこ それ聞いて飼い主さんもすごく安心されてました。

岩本 飼い主さんもしっかり伝えたい思いとかが、しっかりわんちゃんのお弁当箱に詰めて、それをきちんと持って行って、お空に還ってからも、わんちゃんが幸せになれるっていうのは、すごいきますね。

りこ そうですね。もう一つの感動的な最近の事例、やっぱりお空のコなんですけれども、私とはじめましてって、わんちゃんにつながるんですけど、そして、すぐに見せてくれたのが「花束を作ってるの」って。
ヒマワリの花束だったんですよ、わんちゃんが。
へえ、そうなんだ。そのヒマワリの花束を、「これをママにプレゼントするために、今、摘んでるの」って。

岩本 わんちゃんから、

りこ 「地上のお母さんにあげるために摘んでるの」って。

岡安 そのヒマワリには何が込められてるんですかね。

りこ でしょう。それを私も思って、「そのヒマワリは何？」って言ったら、「元気と勇気とやる気だよ」って。

岡安 ママに元気と勇気とやる気をプレゼントしたいんですね。

りこ そう。それを私はその飼い主さんとのセッション前に伺ったんですね。
それをセッションが始まって、飼い主さんに、実はこういうことをおっしゃってましたって言ったら、「ああ、多分今からちょっとやりたいことが実はあ

って、そのための後押しだと思います」ということをおっしゃっていて、実はその飼い主さんっていうのは、そのわんちゃんをご自分が思わぬ場所で亡くされたんですね。

だから、その場所って、外なんですけど、その場所というのは、飼い主さんにとってすごく悲しいつらい場所になっていたんだけれども、「そこっていうのは実はパワースポットだよ」って。「そこに行くと、ママと私はつながれるよ」って言って。

岩本 その捉え方が全然逆になったっていうことなんですね。

りこ そうなんですよ。

岩本 それが前回りこさんがお話しされていた秘密のギフトっていうことなんですよ。

りこ そうです。それはアニマルコミュニケーションで、そのコから聞かなければ、ずっとその場所は悲しい場所のままじゃないですか。そうじゃなくて、私は映像もばーっと見えてくるので、はあ、行ってみたいって思いました。きっとそこパワースポット、すごく気がいいところだと思いますとお伝えしたら、本当そうだと思いますってことで飼い主さんおっしゃってて、そこは多分お二人の秘密基地だから、私は遠慮しようかなって思ったんですけど。

岡安 じゃあ、そのコがその場所を初めから選んでいたんですね。

りこ そうなんですよ。

岡安 すごい。

岩本 すごいですね。

岡安 人間ではわからないような世界。本当にペットちゃんをつながって、ペットちゃんの言葉を聞かないとわからない世界なんですね。

りこ はい。

岡安 ぜひ、そういう世界を1人でも多くの方に味わっていただきたいなと思います。

りこ 皆さん、そんな世界にお招きできればって思ってます。

岩本 ということで、すごくいいお話を聞かさせていただいたんですけど、まだ実はお話があるということで、岡安さん、経験されたんですよね。

岡安 そうなんですよ。私、何と初チャレンジでペットちゃんをつながれてしまったんです。

練習で一緒に参加されていた方のペットちゃんをつながらせていただいたんですけども、そのコが何と10年前にお空に還ってしまったシーズーのような小型犬、ちっちゃいコだったんですけども、アニマルコミュニケーションをやってみたら、向こうから元気いっぱい走ってきてくれるんですね。

本当にかわいいなと思っていたら、ぴょーんって私の膝の上に飛び乗ったんですよ。

あんまりにも、それが人懐っこくてかわいかったんで、それを私、初体験なんで、全然わかってなかったんですけど、飼い主さんにそのままお伝えしたんですね。

「ぴょーんって飛び乗ったんだよ」って。かわいかったんですよって言ったら、その飼い主さんが何と、「うちのコ、生きてたときに、公園とかお散歩してても、ベンチに全然知らない人が座ってても、ぴょーんって膝の上に飛び乗っちゃうコだったんです」って教えてくださって、結局そのコが普段やてることだったんですね。

だから、私は間違いなく、このコとつながれてるんだってということがわかつ

たんですよ。

そのコだけじゃなくて、ほかのコとつながっても、そのコしか知らないこと。あとはそのコしかやらないこと、そういうことを次から次へと教えてくれるんですね。

だから、私は初チャレンジだけれども、アニマルコミュニケーションできちゃったということが言えるんですよ。

まだまだ先ほどの動画の方たちに比べたら、まだ、できたぐらいのところではあるんですけど、感動しちゃって、そのペットちゃんたちの愛の深さとか、ママへの思いとかいろんなことを聞くことができて、本当に初めてのチャレンジでも、感動の連続だったんですよ。

りこ そのコはもしかしたら岡安さんにそういう姿を見せて、それを飼い主さんにフィードバックするっていうことまで見越して、そういう映像を見せてくれたのかもしれないですね。

そしたら、ママは、うちのコ、本当にいるんだっていうことがわかるじゃないですか。

岡安 そうですね。そのときのママの顔、うれしそうなんです。

「間違いなくうちのコだわ」という、その表情とかそれがこっちもうれしくて、アニマルコミュニケーションってペットちゃんと飼い主さんの愛の間のサンドイッチされてる感じで、コミュニケーションをやって練習させていたでいた私自身が一番幸せだったなっていうのを感じたんですよ。

りこ そうですよ。

岩本 もしかしたら、アニマルコミュニケーションを学ぶことによって、ほかの飼い主さんのイヌとつながることによって、仲介者になることによって、その人を幸せにするっていうこともできるかもしれないんですよ。

岡安 そうですね。そういったこともできるし、自分のコとつながって、自分のおうちのコとより深く仲よくなるっていうこともできる。

そして、お空のコともつながれて、亡くなったあとでもずっとつながり続けられるって最高ですよ。

りこ そうですよ。岡安さんのその体験は10年たっても、魂さんとしてちゃんとそこに存在してるっていうことですね。

岡安 そうですね。本当にペットちゃんがママのことを心配してるんですよ。ママ、大丈夫だよって言ってくれたり、それを多分伝えてほしいっていうことを私に教えてくれたのかなと思うんですけど。

りこ そうだと思います。

岡安 すごく重要な役割を担ったような気持ちになって、ぴしっとながらアニマルコミュニケーションってやらなきゃいけないなって思いました。

岩本 ありがとうございます。アニマルコミュニケーションでつながれるっていうことで、ぜひ皆さんにもやっていただきたいです。

岡安 そんなアニマルコミュニケーションをお伝えするアニマルコミュニケーションプログラム hug★ですけれども、こんなビジョンを掲げています。アニマルコミュニケーションを通じて人々に愛と感動を与え、そのハートの連鎖で世界を優しさの光で包みます。

りこさん、やっぱり今って、世の中、世知辛い世の中になってしまったような、優しさが足りなくなってますよね。

りこ そうですよ。機械的になってしまったりっていうところから、もう一度生身の温かさ、愛、感謝、そういうものにふれていただく機会になったらうれしいなと思います。

岡安 その一番重要な役割をしてくれるのがうちの愛するペットちゃんっていう、それはすばらしいですね。今、コロナの影響などもあって、ペットちゃん、どんどん飼う人増えていってるじゃないですか。

りこ そうですね。在宅なので、小さいコを飼って、お育てになるっていう機会が増えてるんだと思います。

岡安 そうなると、もっともっと、せっかくおうちにペットちゃん迎えたんだから、ペットちゃんとお話できるようになる人が増えてくれたら、うれしいなと思いますよね。

りこ そうですね。せっかく一緒にいる時間があるっていうことなので、そこからどうやってふれ合っていくのか、その学びにさせていただけたらなと思います。

岡安 こんなビジョンを掲げてお届けしているプログラムになりますが、次回ついにアニマルコミュニケーションプログラム hug★の全貌を公開させていただきます。いよいよ全貌を公開するところまでできましたね。

岩本 ついにですね。待ちに待った。

岡安 はい。ぜひ、ペットちゃんをつながりたいなっていう方、楽しみにしていただけたらと思います。

それでは本日のアウトプットをお願いしたいと思います。

今日、本当に感動的な事例ばかりで本当に涙涙でしたよね。

ご覧になっていた方もきっと印象に残る事例などあったんじゃないかなと思うんですけども、今日のアウトプットとしてあなたの印象に残った事例はどんな事例だったのか。

そして、りこさんに質問やメッセージをお願いします。

もちろん動画の感想などもいただけると嬉しいです。

ところで、岩本さんは、今日の中でどの事例が印象的でしたか。

岩本 本当にいろんな感動的なエピソードがある中で、そちらのエピソードもちろん涙流して見てたんですけど、一番は岡安のエピソードがよかったかなと思ひまして。

岡安 いえいえ。でも、この感動をぜひ味わっていただきたいんです、皆さんにも。

岩本 僕も味わいたいですし、ぜひとも皆さんにもアニマルコミュニケーションを体感していただいて、すべての人がつながれるようになってくるといいなと思ひます。

岡安 そうですね。本当にハート同士でつながっていくと、人もペットもわけ隔てなく、みんながつながり合って幸せになっていくような世界を作っていくたですよね。

というわけで、次回、第4話、全貌公開ですので、絶対に見てください。

岩本 絶対ですよ。

岡安 そして、アニマルコミュニケーションプログラムでは、体験プレセミナーを開催しております。こちらも続々とお席埋まってきていますので、ぜひお早めにご参加を決めていただけたらと思ひます。

それでは Session3 はこれで終了となります。

本日も最後までご覧いただきまして、ありがとうございました。